

No.	14-3-9	場所	松川町福与 福沢川左岸	次世代への継承キーワード
名称	家が土砂で埋まり、土蔵の2階に入口をあけ、はしごで出入りして生活			災害現象理解
災害現象	家屋の被災			河川 福沢川
補足事項				支流

諏訪市 岡谷市 辰野町 箕輪町 南箕輪村 伊那市 高遠町 長谷村 宮田村 駒ヶ根市 飯島町 中川村 大鹿村 松川町 高森町 豊丘村 喬木村 上村 飯田市 南信濃村 清内路村 阿智村 浪合村 平谷村 下條村 阿南町 売木村 天龍村

概要	<p>松川町生田地区の斜面は、風化すると砂状になりやすい花崗岩からできている。降り続く雨により、いたるところで斜面が崩れ落ち、屋根筋の集落を残して被害は全域に広がった。間沢川、寺沢川、福沢川に流れ込んだ土砂は谷沿いの水田を呑み込み、大きな土石流となって、下流の福与地域をはじめ、天竜川沿いの集落に大きな打撃を与えた。</p> <p>●体験談：△△</p> <p>私もその日水田の見廻りに行っていた。(中略) 後ろを振り返ってみると今自分が歩いて通った道がもう無い立木ともに谷底に飛んでいってる始末、やっとの思いで自宅に戻ってみると父がいない。家の者に聞くと下の田に行ったと聞き心配のあまり迎えに行く。父は養鯉田の鯉が逃げるといっている。鯉なんかよい、危ないからと無理矢理父を連れて帰るも二分もたたないうち、今迄いたところはもう泥の海、前山の竹やぶが抜け落ち、反対側へ打ち上げ、物凄い勢いで池面を滑るように飛んでいく。(中略) あと五分もその場にいたら二人ともあの世行きだったな</p> <p style="text-align: right;">(松川町史「三六災害の思いで」p16)</p>
----	--

記録



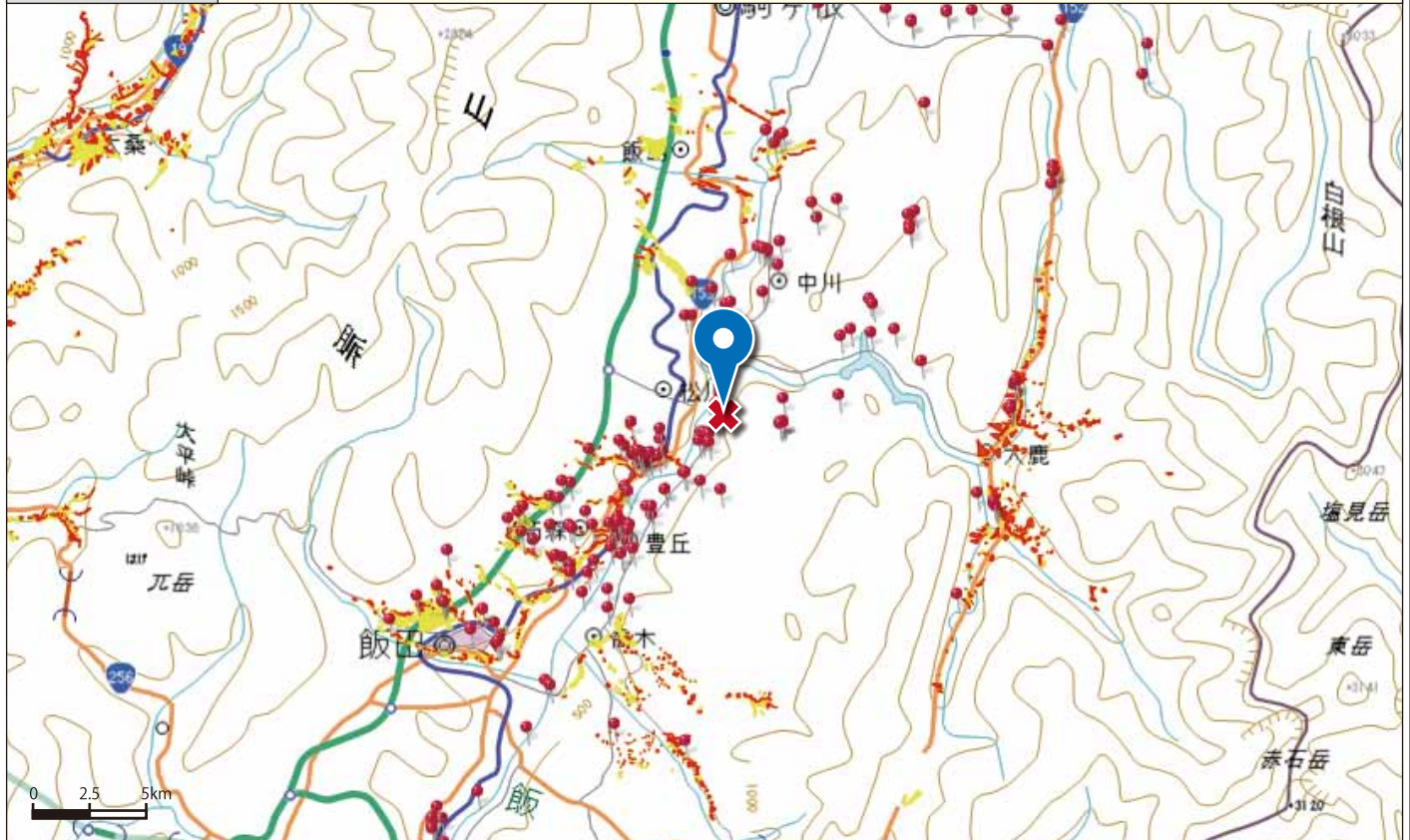
家が土砂で埋まり、土蔵の2階に入口を開け、はしごを架けて出入りする。

出典	松川町史「三六災害の思いで」p16
備考	

No.	14-3-9	場所	松川町福与 福沢川左岸	緯度	35.590275
-----	--------	----	-------------	----	-----------

名称	家が土砂で埋まり、土蔵の2階に入口をあげ、はしごで出入りして生活	経度	137.926907
----	----------------------------------	----	------------

地図 広域図



地図 詳細図



備考 上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通称：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。